

=私たちの活動 4つの柱=
*制度化と指導員の身分保障
*専門性と仕事の確立
*父母と共に学童保育運動の発展
*全国の指導員との団結と連帯

建交労全国学童保育部会

ニュース学童保育

2017. 8. 7.
NO. 16
全日本建設交運一般労働組合
全国学童保育部会 発行
編集：事務局

札幌支部、5万円賃上げ

改善がすすむ一方で。。。

札幌市、大規模化へ対応

札幌支部は、保護者会や札幌市学童保育連絡協議会とともに、助成制度の拡充を求めて運動しています。

札幌市内でも、学童保育の需要は増加傾向が続いており、1小学校区につき100名を超える需要は一般的で、200名を超える需要を抱える校区もありま

す。

このような状況もふまえ、2015年度より、市は1小学校区に複数の児童会館児童クラブ、学童保育所への補助、助成を認めるための条件を設けていたところ、その条件を撤廃しました。

これにより、それまで助成金がもたらえなかった学童保育所2か所も新たに助成金がもらえるようになりました。

今年度当初、48か所の学童保育所が助成を受けています。

国の補助金を活用

「処遇改善事業」の活用により、指導員の月給は多いところで、5万円等、一気に上がったところもあります。「環境改善整備推進事業」「送迎支援加算」「長期休暇支援加算」「キャリアアップ処遇改善」の申請作業も始まっています。

市独自加算は家賃補助、(保護者会費)減免額分助成費、通勤費独自加算の3項目となっています。

生活保護世帯は、保護者会費の全額を保護費から出してもらえるところが、就労支援のためのものなので、未就労のところは出し

てもらえません。

学童保育所への助成で出してもらえるかというところ、そうもなっておらず、当該保護者と保護者会で全額負担せざるを得ません。

病気で働きたくても働けない、放課後の子どもを見るのも困難な家庭は最優先で保護者会費への援助をしなければならぬはずであり、減免対象とするよう強く求め続けています。

独自加算が実現している項目も、学童保育所の運営実態からみれば増額されるべきものと訴えています。

国の補助内容の改善により、市内の学童保育所の運営内容もいくつか改善することが出来ました。

の予算規模はまだまだ圧倒的に少ないのが現実です。

「ハローワークに求人を出しても応募がない」等の事態に直面するとそのことを改めて思い知らされます。

学童保育所への補助も、目覚ましく改善されていますが、もとの額が相当低かったところからの改善です。

労働者の平均より相当低い保育士の賃金よりさらに低い学童保育指導員の賃金の中でも、相当低いパート指導員の賃金では応募してくる方がいないというのが現実です。

子どもたちにより良い保育内容を保障し、保護者の皆様とより良い子育てを追求していくために、国と札幌市の事業の抜本的拡充が必要とす。

それでも低い、指導員の待遇

しかし、求められる運営内容に対する実際

(札幌支部)

宇夫佳代子

全国学童保育部会総会

9月16(土) 13:00~
17(日) 12:00

建交労中央本部にて
(新宿区百人町4-7-2)

参加申し込み：9月5日(月)締め切り

制度、予算が大きく動いています。各支部より、参加者を送り出し、運動の成果を確かめ合ひましょう。